

令和2年度

昭和町教育委員会  
臨時会(4月)会議録

昭和町教育委員会

## 令和2年度4月臨時教育委員会 会議録

- 1 会議の別 臨時会
- 2 開催月日 令和2年4月2日(木)
- 3 開催時間 午後1時30分から午後2時40分
- 4 開催場所 昭和町役場別棟2階会議室
- 5 出席委員 教育長 太田 充  
教育長職務代理者 磯部 幸廣  
委員 石原 保夫  
委員 小宮 山 稔  
委員 山田 由美
- 6 欠席委員 なし
- 7 委員及び傍聴人を除く会議室に出席した職員の職氏名  
学校教育課長 神澤 卓見  
生涯学習課長 山本 靖  
主幹・指導主事 古屋 正樹  
学校教育課総務係長 細田 忠司
- 8 出席した長及びその事務局の職員の職氏名 なし
- 9 傍聴人 なし
- 10 会議の概要  
開 会  
(1) 開会  
(2) 議事(会議に付した議案)  
1) 中央市・昭和町教育支援センター共同運営協議会設置要綱について  
2) その他  
(3) その他
- 11 議案となった動議を提出した者の氏名 なし

## 12 議事

教育長

議事に移ります。

1) 中央市・昭和町教育支援センター共同運営協議会設置要綱について、事務局お願いします。

神澤課長

お手元の資料をご覧ください。中央市・昭和町教育支援センターについては両市町の規約に基づき設置されることになり、要綱につきましては5月1日から施行することで協議を進めてまいりました。規約については3月議会により承認を受け、運営の詳細であります要綱を、今回、議案として提出させていただきましたのでご確認ください。

(要綱の内容について資料を用いて説明)

古屋主幹・指導主事

教育支援センターにつきましては、以前より教育委員会のなかで設置への説明をしてきました。

対象は、不登校や学校に適應できない子供達で、原則、小学校4年生から中学校3年生として、相談の窓口や実際に来ていただいたりする施設になります。もちろん、そのほかの学年についても相談に乗ることはしていきます。

中央市と昭和町の共同設置になりますので、費用については折版となっておりますが、施設の設置場所や事務の主体は中央市になります。

すでに指導員が2名とカウンセラーが決まっております、3名体制で進めてまいります。指導員は学校を熟知した方々で、元中学校校長の男性が1名、小学校教諭を退職した女性が1名と男女や学年を問わず相談できますので、スタートとしては良い体制が整ったと思います。カウンセラーは、両市町の福祉関係で活躍されています三尾先生に入ってくださいことになりました。教室の名前は、子供たちの明るい未来をとということで「にじいろ教室」と決まり、設置場所は中央市の玉穂庁舎裏にありますプレハブになります。

運営していく中で、困っている子供たちが来ていただいたり、相談に乗ったりしながら、教育支援センターを通して困り感の解消や、学校へ再登校ができるようにしていくこととなります。

教育長

事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問ありますか。

石原委員

施設見学はできますか。

教育長

見学できます。

石原委員

今後、開催される教育委員会の後などはいかがですか。

古屋主幹・指導主事	そうですね、子供の受け入れは、準備期間として4月中を考えています。5月以降は実際の運営になります。見ていただく機会を設けられればと思います。
山田委員	施設の大きさはどのくらいになりますか。
古屋主幹・指導主事	正確には覚えていませんが、8畳から12畳程度が2部屋あります。
山田委員	コロナウイルスの関係もありますが、5月1日からの運営はどうなるでしょうか
教育長	面接や相談期間、その子への説明もありますので、様子を見ながらになります。 県の適応指導教室も3か所ありましたが、数年のうちに廃止になってしまいます。この動きを受け、中央市と昭和町では設置に踏み切りました。  支援センターについて、他にご意見、ご質問ありますか。 無いようですので、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。 (異議なく承認。)  2) その他について、何かありますか。
小宮山委員	学校の再開について、いつごろになりそうですか。
教育長	都内では5月上旬という情報がありますが、県内での発症者数も9例目が確認されています。いよいよ増えてきてしまったと感じていますが、濃厚接触者も多数いると推測されています。中北圏域の各市町との情報交換は随時しています。地域ごとの実態に合わせ、学校再開をするようにと言われていますが、確定した情報は少なく我々のもとには入ってきておりません。その中で難しい判断を迫られていますが、日々、状況は変化していますので、入学式を含め再開延期などは教育委員会にて、ご意見を伺いながら決めていきたいと考えています。
山田委員	保護者からの意見もうかがってしまして、子供たちを家に居させるのがそろそろ限界という話も聞いています。公園に行ったりもしているようですが、一番は学習面が心配とのことでした。全国的にも変わらないとは思いますが、ネット環境を使った学習も方法としてはありますが、貧困の問題もありますので、何か検討していただきたいです。
古屋主幹・指導主事	一番心配されているのは学習面だと思います。3月分の残りにつきましては、町内を含め近隣学校では同じ状況にあります。新年度の始めに

古屋主幹・指導主事	その辺りを何とかしてしまい、それから新学年のものに移りたいと考えています。4月当初から再開できれば、様々な工夫や余剰時間も使い夏休みを削ることなく出来そうではあります。再開がこれ以上に遅れるとなると、各校長との協議もしていきながらになりますが、夏休みの短縮や行事のカットも検討することになります。
山田委員	最近の保護者の話では、コロナが怖くなってきて学校がないのはホッとできるが、家での生活はだらけてしまい学習面が心配になってきているので、学校からの課題があればいいと聞きました。
教育長	課題の連絡についてですが、他の教育長とも情報交換していますが、人事異動や新年度の始まりを迎え、学級担任は児童、生徒に会えていない、まだ顔も知らない中で検討しています。教科書も配れていないこともありますので、在校生は休業中に1日だけ来てもらって、教科書だけ渡す、新入生は入学式だけ行い休業にするなど考えているそうです。 今日、明日には今後の対応が検討され、結論を出すと聞きました。
山田委員	また1週間休みになった場合、以前のように学校での受け入れもできるのでしょうか。
古屋主幹・指導主事	新年度に入ったばかりですので、そのあたりも踏まえ検討していくこととなります。
小宮山委員	まずは子供たちの安全確保が1番であって、教育は後追いで何とかしていく、何とかすることはできると思います。コロナ対策では3密になることが拡大につながるので、日付を決めて学年ごと、交互に学校に来たりなど方法はいろいろ考えられます。学校運営をどうするのかも分かっていますが、子供の安全の確保をした中で今後を決めていったらいいのかと思いました。
教育長	新年度の始めですので、各校では今まで通り昨年同様の体制は整えています。その中で、子供の安全を優先したコロナ対策では休業の延長も考えていくことになると思います。
山田委員	ある学校では、教科書を取りに行くのにクラスごとや学年ごと、時間や日を変えている話を聞きました。
教育長	配布方法は、児童生徒数により時間と日を分けるなど、対応が少し変わったりするとは思いますが。他市町の教育長の話しですが、新しい教科書を配り予習させるのがいいのか、前学期の復習をさせるのか、様々な意見があると聞いています。

教育長	昨日、各学校では職員会議を開き、顔合わせをして今後について打ち合わせを行ったところです。
磯部職務代理	学校が再開しても、またこういうケースになってしまうか分からないですし、先も見えないので、あらゆる状況を想定しておかないとならないと思いますが。
教育長	日々、状況は変わりますが、町内の4校は同じ対応をすることになります。
山田委員	町内4校は同じ対応でいいのですが、受験生の保護者からは他市町から遅れるのは困るような声も聞かれました。でも、健康が一番ですしね。
教育長	いろいろなご意見があります。休校にするほど危ない状況なのかと言われることもあります。安全を重視していくことが、これからの学校対応では必要と考えます。
小宮山委員	今後の状況は分からないところですが、子供にかかわる教員の接し方について、前回の休業時にはどんな感じだったのですか。
古屋主幹・指導主事	小学校での受け入れに関しては、全ての教員がかかわり安全に配慮しながら実施していました。家で過ごしている子に対しては電話連絡、家庭訪問を行い健康状態の把握をしていました。中学校でも同様に実施し、町内やイオンなどの見回りも行っていました。
小宮山委員	ネット環境やタブレットを使いながらの学習支援はあるのですか。NHKからは、学習系のものを流しているようですが、それらを使って課題にしたり、まとめを提出させたりと、いろいろできるような気がしますが。
古屋主幹・指導主事	情報提供としては、文部科学省と経済産業省のホームページにありますが、子供向けの学び教室が発信されていますので、紹介はしているところです。前回3月の休業期間については、急に決まったことで、準備もできなかったとも聞きました。
小宮山委員	今後については、どうなるか分からないところですが、いろいろと準備していただいて、学習支援をしていっていただきたいと思います。
教育長	今回の1か月間の休業により、子供たちの学力はその家庭での過ごし方により差が開くと考えられます。休みを有効に使って学習していた家庭、保護者の労働環境もあり子供の学習面まで手が回らなかったなんてことも聞きます。そのあたりも踏まえ新年度の対応は難しくなっている

教育長	と思います。
山田委員	先ほど話しもありましたが、NHKから配信されているものの感想をまとめ提出させたり、何かしら学校からの課題としていただければ、家庭でも少しは勉強してくれると思います。
教育長	3月の休業期間については、いろいろな対応、課題の出し方、児童生徒へのアプローチも検証していき、次につながられればいいと思いました。今後については、1週間単位で休業などは検討していくこととなりますが、入学式もあるので難しい判断になると思います。
磯部職務代理	知事からは12日まで自粛してほしいとも言われていますが、入学式についてはできる限り早目に判断していただきたいと思います。
教育長	日々、状況は変わっていきますが判断については早急また、できる限りいい形で新学期を迎えられるように配慮していきます。3日か遅くも4日には始業式、入学式の実施については判断いたします。  他にはいかがでしょうか。 無いようですので、議事を終わります。  —閉会 午後2時40分—

次回の定例会教育委員会は令和2年4月16日（木）午後1時30分から開催します。